

地方創生関係交付金事業評価シート

	担当課名	産業支援室	事業No.	2
事業名	とくしま新未来産業のブランド創出とグローバル展開戦略			
目的	徳島県・徳島市と連携し、世界に誇る二つの青色「LED」と「阿波藍」を活用した新たなツーリズムの創出に向けたイベント開催や「ジャパンプルー・徳島」のプロモーション等に取り組む。			
実施内容	藍染め普及支援として次の事業を実施。【地方創生推進交付金事業】 1) 藍の館のPRを目的に藍染め製品作りワークショップを開催 2) 藍染ファッションショー「インディゴコレクション2019」の開催 3) 藍染め製品でサービスが受けられる「“藍”deグルメ」の実施			
重要業績評価指標 (KPI)	指標	藍の館の年間入込客数		
	目標	35,000人 (R1) ←26,596人 (H26)		
	実績	29,973人 (R1)		
達成度	A：達成 (B)：概ね達成 C：未達成			

【事業費と財源内訳】

(単位：円)

令和元年度	計画額	実績額	交付金充当額	備考
事業費	6,000,000	6,042,556	3,000,000	事業費の1/2

【令和元年度の取組と課題】

<p>1) 県内で活躍するハンドメイド作家による藍を使ったワークショップを開催。藍の館のPRの為、月に1度開催している。藍の館の新規客の獲得の他、藍染めの周知につながった。</p> <p>2) 藍染め衣装のファッションショー「インディゴコレクション2019」を、昨年よりも規模の大きい「藍住町総合文化ホール」で12/15に開催。お手製の藍染め衣装に身を包み、78人が出演した。また、ゆめタウン徳島と連携し、子どもがメインの「インディゴプチコレクション2019」も8/25に開催し、12月の開催に向けた先行イベントとして、本番の周知・PR等を行う。</p> <p>3) 藍を日常に取り入れることを促進するイベントとして「“藍”deグルメ」を実施。7/16～8/16に藍染め製品を身につけて協力店舗で食事等をする特典が受けられるもの。27店舗の協力が得られ、同時に藍の日(7/24)のPRにもつながった。</p>
--

【今後の取組】

<p>1)～3)いずれも交付金が無くても継続する仕組み、新しい取り組みについて検討する。阿波藍製造復活の推進等、藍を使ったまちづくりに取り組んでいく。藍の館の展示内容がリニューアルしたことにより、更なる周知・PR等を図る。</p>

※藍住町地方創生推進会議の意見

<p>○SNSによる情報発信が他の自治体に比べ、弱いのではと感じた。藍染め関連の事業は町内外に強く発信していただきたい。</p>
--